

みんなで環境について考えよう

空き地は適正に管理(草刈り、清掃)していますか?

空き地の所有者は、定期的に見回りをして雑草が繁茂した場合は草刈りをし、木の枝が近隣住宅の敷地に入らないよう枝下ろしをするなどして、年間を通して適正な空き地の管理をお願いします。

空き地を放置しておくと草や木が繁茂して…

- ハブやハチ、蚊などの害虫が発生
- 樹木が強風で折れるなどして隣の家や道路に倒れる
- タバコの投げ入れなどによる火災やごみの不法投棄による環境の悪化などの被害がおこります。

ハブ被害を防ぐための環境整備

- ①ハブの隠れやすい場所をなくす。
- ②ごみなどの廃棄物を放置しない。
- ③家の周りを高さ1m以上の塀で囲む
- ④空き地やお墓などは、雑草が伸びすぎないように定期的に草刈を行う。



ハブ捕獲器の設置

逃げてしまった、抜け殻を発見した等の場合は、環境対策課までご連絡ください。ハブ捕獲器の貸し出し及び環境整備のアドバイスを行います。



大型犬や闘犬種の飼い方について

～市内で闘犬種による咬傷事故が発生しています!～

過去に県内で幼女が咬まれ死亡するといった悲惨な事件も発生しており、大型犬や闘犬種の逸走は、平穏な市民生活に大きな不安と脅威を与えることとなります。大型犬や闘犬種の飼い主は、次のことを必ず留意して飼養管理を徹底してください。

- 闘犬種とは、①アメリカン・スタッフォードシャー・ブル・テリア(通称:アメリカン・ピットブル・テリア)
②土佐犬をいいます。

大型犬とは おおむね55cm以上(前足肩までの高さ)の犬を指します。

(危害防止)

1. 人畜、その他に害を加えるおそれのない場所または方法で訓練し、若しくは移動または運動をさせるとき以外は檻から出してはならない。
2. これを制御することができる者でなければ、連れ出してはならない。
3. 連れ出す場合には、咬傷事故防止用口輪等を装着すること。

(飼養施設の基準)

1. 闘犬種は、檻飼いを原則とし、逸走防止のため鎖等で係留すること。
2. 檻は、施錠できるものであることとし、檻の管理は飼い主又は管理者が行うこと。
3. 檻の設置場所は、公路を通行する人が接触しない場所で、かつ、飼い主および管理者以外の人容易に立ち入れない場所であること。
4. 人目につきやすい場所に大型犬や闘犬種の飼養をしめす表示をすること。



ご近所等で正しく飼養されていないと認められる大型犬や闘犬種がいる場合は、環境対策課までご連絡ください

問合せ:環境対策課 環境指導係 893-4411 (内線451)

マナーを守って人と動物が暮らしやすいまちに!

犬や猫といったペットは人のパートナーとして、暮らしの中でなくてはならない存在となっていますが、ごく一部のマナーを守らない飼い主により、近所とのトラブルに発展することが見受けられます。あなたの大切なペットを地域から愛させる存在にするためにも飼い方のマナーを守って人と動物が暮らしやすいまちにしましょう。

鳴声

犬の吠え声は周辺の静かな生活環境を破壊することがあります。深夜早朝であれば周辺の安眠を妨害し、飼い主が思っている以上に近所にうるさく感じられ苦情やトラブルとなります。



放し飼い

犬の放し飼いは、通行する人や周辺の人々に恐怖を与える大変危険で迷惑な行為です。放し飼いは絶対にやめましょう!
※市では咬傷事故防止のため放し飼いの犬は発見次第即座に収容しています。



散歩中のフン

公園や歩道など「公共の場所」でのフンの放置の苦情が絶えません。散歩の時はビニール袋等を所持し犬のフンは飼い主が責任をもって片付けましょう。※フンの放置は2万円以下の罰金が課せられることがあります(宜野湾市飼い犬条例)



犬の登録は生涯1回、狂犬病予防注射は毎年1回!

犬の登録と狂犬病予防注射の届出は飼い主の義務です。必ず登録を行い、毎年1回の狂犬病予防注射を受けさせましょう!犬の登録と注射済票の交付は環境対策課窓口、または委託を受けている動物病院で受け付けています。



かわいそうな猫たちを減らすためのお願い

～いまでも沖縄県内では多くの猫たちが殺処分されています～

猫は室内で飼い、避妊・去勢手術を受けさせましょう!

交通事故や病気の伝染、他人の庭での排出行為などの近所迷惑になることはありません。また、猫は交尾するとはほぼ100%妊娠し、1回の出産で4~8匹の子猫を生まれます。生まれてくる子猫全てに飼い主を見つけることができないのであれば、予め不妊手術を受けさせることが不幸な猫の数を減らすことへとつながります。

沖縄県獣医師会では、犬・猫の不妊去勢手術への助成を行っています。

詳しくは⇒沖縄県獣医師会(TEL853-8001)へお問い合わせください。

野良猫(飼い主のいない猫)へのエサやりはやめましょう!

不妊手術を受けておらず、生殖能力を有した野良猫にエサを与えるという行為が、猫の殺処分数の増加に拍車をかけているという側面があります。また、野良猫が集まるとゴミをあさる行為や糞尿被害など、地域住民同士のトラブルにつながることもあります。無責任な餌やりはやめましょう。

